
プラス電書 「書籍を買うと電子書籍が無料でついてくる」 サービスの 【中間】実験報告



●目次

プラス電書の取組の中間報告に際して……	02
実験の結果を概括する……	03
プラス電書サービスのタイトルと告知内容……	04
プラス電書サービスのダウンロード数などの記録（一部）……	05
ダウンロード者・アンケート（中間集約）……	06
ダウンロード数・販売数とアンケートから見えてきたこと……	03
プラス電書企画書……	08
【参考資料】「リアル書店×電子書店の連携サービス」 電子書籍情報まとめノートから……	11

2015.03.24 Ver.2.1

ポット出版

問合せ：densho@pot.co.jp

03-3478-1774 ファックス 03-3402-5558

渋谷区神宮前 2-33-18-303 150-0001

ポット出版では、電子書店4店と共同して、「書籍（紙の本）を買くと電子書籍を無料でダウンロードできる」サービスを、書籍の販売促進のため、また電子書籍市場の拡大のためにおこないました。

2014年11月初旬からはじめたこのサービスについて、2015年2月までのさまざまな進捗を中間的に集約しました。

書籍のさまざまな販売促進策の一つとしての有効性を検証するためです。

中間集約での総括は、

5%～10%程度の増売を実現した可能性がある、と考えました。

もちろん、対象タイトルのジャンルによる違い、認知度、サービスの利便性、そもそも電子書籍特有の購入電子書店のビューアでの管理に縛られる、などといった問題もあり、単純に「効果あり」とだけ受け止めることはできません。

しかし、まだまだ、こういったサービスを開発する先に、書籍の販売促進の可能性はあると思います。

出版社・書店・電子書店・取次、などの出版流通関係者や、すべての読者の方々に、この結果や検証を報告して、書籍出版の世界の豊富化の材料にしてもらえればと思います。

2015年3月5日

ポット出版

■サービス実施タイトル

『アーカイブ立国宣言』／『電子図書館・電子書籍貸出サービス』

■ダウンロード対応電子書店 4書店

honto／紀伊國屋／BOOKSMART／BookLive!

■無料ダウンロード保証期間

2015年11月30日まで

▼オビ・表一部分



●ダウンロードできる電子書店



(対応電子書籍書店拡大予定)

検索できるリフロー型 EPUB

2015年11月30日までは

ダウンロードできます

(2014.11.10 午前0時開始)

期日を過ぎるとダウンロードできない場合があります

▼オビ・ソデ部分



クーポンコード



●ビューアアプリの対応OS

honto ▶ iOS Android Windows

紀伊國屋 ▶ iOS Android Windows

BOOKSMART ▶ iOS Android

BookLive! ▶ iOS Android Windows

(一部未対応の機種があります)

・それぞれの会員でない場合は
まず会員登録をお願いします

・それぞれのビューアアプリの
ダウンロードをお願いします

・下記 URL でクーポンコードを入力ください

honto

▶ <http://honto.jp/pot0214/>

紀伊國屋

▶ [http://www.kinokuniya.co.jp](http://www.kinokuniya.co.jp/c/20141110000000)

/c/20141110000000

BOOKSMART

▶ <http://booksmart.jp/pot0214>

BookLive!

▶ <http://booklive.jp/>

●ほかの電子書店の対応状況

www.pot.co.jp の本の紹介ページで随時紹介します

ダウンロード数・販売数とアンケートから見えてきたこと

プラス電書サービス実験をおこなった2014年11月（書籍版は一部10月に店頭にならんだ）～2015年1月（一部書店の2月データも調べられた）のダウンロード数、販売数を集計しました。また、2015年1月にアンケートを実施しました（アンケートの実施は、一部の電子書籍書店で集計されています（今後増えるアンケート回答は、この「報告書」の改定版で掲載する予定です）。

このダウンロード数、販売数調査と、アンケートの集計から、次のようなことが見えてきたと考えています。

●現在の書籍版の想定実売数は703冊／923冊

紙の書籍の実売数は、一部大手チェーン書店のPOSデータを集計したものです。この一部大手チェーン店のPOSデータは、実際の実売数の1/3～1/4（33%～25%）程度の把握にとどまっていると思われます。把握率30%とすれば、『アーカイブ立国宣言』は、書籍版のPOSデータ：211冊×30/100＝約703冊
『電子図書館～』で、POSデータ：277冊×30/100＝約923冊、と想定できます。

●無料版電書のダウンロードは書籍購入者の10%

仮に、書籍の実売データの把握率が30%とすると、プラス電書版のダウンロードは、
『アーカイブ立国宣言』は、プラス電書版：64冊÷書籍版の想定実売数：約703冊≒9.1%
『電子図書館～』で、プラス電書版：93冊÷書籍版の想定実売数：約923冊≒10.0%、
で、ほぼ10%が無料ダウンロードサービスを利用してくれたことになります。

●アンケートの回答は、無料版電書のダウンロード者のうち20%

現在の回答者は10人。この依頼メール送付数は50通ほどなので、20%の人が回答してくれました。

●書籍版の購入の「後押しになった」人は60%

書籍版の購入に際して、一定の「後押しになった」の回答は10人中6人と60%となっています。
「紙書籍での購入に後押しとなりましたか？」という直接的な質問に対して、
「非常に後押しになった」が1人、
「若干後押しとなった」が5人、
「あまり後押しにならなかった」が2人、
「まったく後押しにならなかった」が2人。

●書籍の店舗での購入50%、ネット書店での購入が50%

無料ダウンロードをした人の、書籍購入場所は、50%がリアル店舗、50%がネット書店でした。
ネット書店での購入者は、ネット書店内の電子書店でこのダウンロードをおこなっています。
リアル店舗の書店での販売促進にも、ネット書店での販売促進にも一定の効果があったと考えています。

●結論＝書籍購入者の5%程度（40冊程度）の購入の後押し

こうしたデータとアンケートから、結論としてまとめるならば、
一タイトルの想定実売数が800冊、このうちプラス電書版のダウンロード者は10%で、その60%程度に「後押しになった」購入者が回答しています。

したがってこの実験全体からひとまず、書籍の購入において、5%（書籍の実売数から勘案すると40冊くらい）程度の増倍効果の可能性があったと言えるかと考えてます。

プラス電書サービスのタイトルと告知内容

プラス電書サービス実験では、『アーカイブ立国宣言』と『電子図書館・電子書籍貸出サービス』（ともに2014年11月発行）2つのタイトルで実験を行いました。

オビに無料ダウンロードの対象タイトルであること、折り返しの部分にはクーポンコードと、対応する電子書店のダウンロードページのURLなどの要項を印刷しました。

実際、購入者がURLを入力するのはとても煩わしいので、今後は「プラス電書ウェブサイト」を開いて、そこにタイトル別・電子書店のダウンロードURLへのリンクを貼ることで、最小の費用で誘導の利便性を確保するなどに取り組むのがよいとおもわれます。

▼ポット出版「プラス電書サービス」の告知から

プラス電書 - 紙の書籍を購入すると、電子書籍がついてきます
ポット出版は11月初旬発売の書籍（紙の書籍）・2タイトルに、電書（電子書籍）無料提供サービスをおこないます。

●対象タイトル

○アーカイブ立国宣言 日本の文化資源を活かすために必要なこと
<http://www.pot.co.jp/books/isbn978-4-7808-0213-9.html>
書籍書店発売日 2014/11/14 金（11/13 木ころから書店着）
電書（有料版）発売予定日 2014/11/10 火
電書（無料サービス版）公開予定日 2014/11/10 火

○電子図書館・電子書籍貸出サービス 調査報告 2014
<http://www.pot.co.jp/books/isbn978-4-7808-0214-6.html>
書籍書店発売日 2014/11/13 木（11/10 月ころから書店着）
電書（有料版）発売予定日 2014/11/10 火
電書（無料サービス版）公開予定日 2014/11/10 火

●対応電子書店でのダウンロード方法

○honto

※2014.11.11 現在、両タイトル共にダウンロード可能

・「アーカイブ立国宣言」クーポン入力ページ

<http://honto.jp/pot0213/>

・「電子図書館・電子書籍貸出サービス」クーポン入力ページ

<http://honto.jp/pot0214/>

hontoでの会員登録後、上記それぞれのタイトルのページにて、クーポンコードを入力していただきますと、電子書籍のダウンロードが可能になります。

○紀伊國屋書店

※2014.11.13 現在、両タイトル共にダウンロード可能

・プラス電書キャンペーンページ

<http://www.kinokuniya.co.jp/c/20141110000000.html>

紀伊國屋での会員登録後、上記ページに記載されているガイドにしたがってクーポンコードを入力していただきますと、電子書籍のダウンロードが可能になります。

その際に、紀伊國屋ウェブページ上で一度ログインを行う必要があります。

○BOOKSMART

※2014.11.11 現在、両タイトル共にダウンロード可能

・「アーカイブ立国宣言」クーポン入力ページ

<http://booksmart.jp/pot0213>

・「電子図書館・電子書籍貸出サービス」クーポン入力ページ

<http://booksmart.jp/pot0214>

BOOKSMARTでの会員登録後、アプリをダウンロードしていただき、BOOKSMARTウェブサイトより、使用端末の登録をおこないます。端末登録後、上記それぞれのタイトルのページからクーポンコードを入力していただきますと、電子書籍のダウンロードが可能になります。

○BookLive!

※2014.11.13 現在、両タイトル共にダウンロード可能

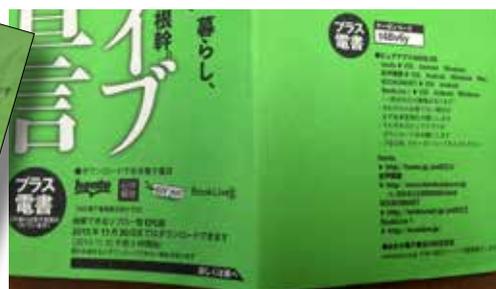
・BookLive! トップページ

<http://booklive.jp/>

BookLive!での会員登録後、アプリをダウンロードしていただき、上記BookLive!ウェブサイトより、クーポンコード入力ページへ移動します。PC版ウェブサイトは左側のバーの一番下に、タブレット版ウェブサイトはトップページの一番下に、それぞれのタイトルのクーポンコード入力ページへのリンクがあります。

対象タイトルのページからクーポンコードを入力していただきますと、電子書籍のダウンロードが可能になります。

アーカイブ立国宣言
日本の文化資源を活かすために必要なこと
「アーカイブ立国宣言」編集委員会 編
書籍版●希望小売価格：2,300円＋税
（この商品は非再販商品です）
電書版●希望小売価格：1,800円＋税
ISBN978-4-7808-0213-9 C0000
四六判 / 272ページ / 並製
[2014年11月刊行]



電子図書館・電子書籍貸出サービス
調査報告 2014
植村八潮 編著，野口武悟 編著，
電子出版制作・流通協議会 著
書籍版●希望小売価格：2,600円＋税
（この商品は非再販商品です）
電書版●希望小売価格：2,000円＋税
ISBN978-4-7808-0214-6 C0000
B5判 / 224ページ / 並製
[2014年11月刊行]

プラス電書サービスのダウンロード数などの記録（一部）

	プラス電書版	電書版	書籍版	総計
アーカイブ立国宣言	64	47	211	322
2014年10月		0	4	4
2014年11月	37	16	65	118
2014年12月	20	13	119	152
2015年1月	7	18	18	43
2015年2月		0	5	5
電子図書館	93	24	277	394
2014年10月		0	10	10
2014年11月	66	13	54	133
2014年12月	15	6	199	220
2015年1月	12	3	10	25
2015年2月		2	4	6
総計	157	71	488	716

*プラス電書版=書籍購入者の無料ダウンロード数。

プラス電書サービスに対応していただいた電子書店の報告の合計になります。

*電書版=電子書籍だけの有料購入数（ダウンロード数）

*書籍版=紙の本の実売数。

大手書店のPOSデータの集計ですので、全体の売込数の一部になります。

*書籍版の記録

アーカイブ立国宣言=初版 2,000 部発行 2015.02.25 現在の在庫数は 900 冊程度

電子図書館=初版 2,000 部発行 2015.02.25 現在の在庫数は 900 冊程度

書籍版の 2015.02.25 現在の売込数はそれぞれ、ほぼ 600 ～ 800 冊程度と想定しています。

プラス電書版のダウンロード数は、対応電子書店でのデータです

ダウンロード者・アンケート（中間集約）2-1

●アーカイブ立国宣言・購入者

性別	男性	女性	男性	男性	男性	男性
年代	40代	30代	20代	60歳以上	40代	50代
都道府県	東京都	兵庫県	東京都	愛媛県	東京都	不明
紙書籍をどこの書店で購入されましたか？	ネット書店	神戸大学生協書籍部	丸善本店	ネット書店	紀伊國屋書店新宿本店	丸善 oawo
無料ダウンロードできることを知っていましたか？	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	はい
どこで知りましたか？	インターネットや広告などで知った	インターネットや広告などで知った	購入する際に紙書籍を見て知った	購入した後に知った	購入する際に紙書籍を見て知った	その他（図書館展）
紙書籍を購入する際に、後押ししましたか？	若干後押しとなった	非常に後押しとなった	若干後押しとなった	全く後押ししなかった	あまり後押ししなかった	あまり後押ししなかった
無料ダウンロードした電子書店の選択理由	紙書籍版を購入したから	普段から利用しているから。	会員登録をしていたから。	紙書籍を購入したからです。	いつも利用しているため	すでに会員だから
主にどちらでお読みになりましたか？ 紙書籍版/電子書籍版 (%)	紙の書籍 = 70 電子書籍 = 30	紙の書籍 = 50 電子書籍 = 50	紙の書籍 = 60 電子書籍 = 40	紙の書籍 = 100 電子書籍 = 0	紙の書籍 = 90 電子書籍 = 10	紙の書籍 = 100 電子書籍 = 01.0
無料でダウンロードは、必要なサービスですか？	必要	少し必要	必要	どちらとも言えない	必要	必要
どんな紙書籍が対象だったら今後も使いたいと考えますか？また、どんなサービス形式だったら、より使いやすいですか？	小説などではなく学術書	本文をキーワード検索する必要があるような、学術書。	専門書。	紙書籍の対象は、図版などが少なく、読みやすい書籍のみです。現在、電子書籍は Kindle で購入・読書しています。御社では、Kindle へのダウンロードが出来ません。紙媒体を電子で読む場合、様々な媒体があり、利用へのハードルを高くしています。小生の場合、御社の電子書籍は PC でしか読めないという、根本的な問題があります。従って、紙媒体に電子書籍が付帯していても、あまり魅力を感じないというのが、率直な感想です。Kindle での利用が可能であれば、「紙書籍を購入すると、電子書籍版が無料でダウンロードできるようなサービス」は、歓迎しますが。	電子書籍の永続アクセスが保証されていると言えない現状では、基本的に紙書籍になって販売されると安心して電子書籍を買うことができる。	実務書
これまでこの電子書店の会員でしたか？	既に会員だった	既に会員だった	既に会員だった	既に会員だった	既に会員だった	既に会員だった
一年間に購入する書籍のうち電子書籍 (冊/年)	200 20	100 50	10 1	200 10	100 5	450 10
これまでに購入した電子書籍	50	100	4	362	30	36
普段、電子書籍はどのようなデバイスで読まれますか？(複数回答可)	PC タブレット スマートフォン その他	タブレット	PC スマートフォン	PC その他	PC スマートフォン その他	タブレット その他
デバイスの機種		iPad	iPhone	Kindle	Kindle	iPad kindle
今回の電子書籍版はどのデバイスで読まれましたか？	その他	タブレット	タブレット	PC	スマートフォン	タブレット
今回読んだデバイス	iPhone6	iPad	iPhone	PC(Windows7)	Vaio Xperia	iPad

ダウンロード者・アンケート（中間集約）2-2

●電子図書館・電子書籍貸出サービス・購入者

性別	男性	女性	女性	女性		
年代	40代	30代	30代	40代		
都道府県	千葉県	東京都	京都府	東京都		
紙書籍をどの書店で購入されましたか？	ネット書店	ネット書店	ジュンク堂書店京都店	ネット書店		
無料ダウンロードできることを知っていましたか？	はい	はい	いいえ	はい		
どこで知りましたか？	インターネットや広告などで知った	購入した後に知った	購入した後に知った	インターネットや広告などで知った		
紙書籍を購入する際に、後押ししましたか？	若干後押しとなった	若干後押しとなった	全く後押ししなかった	若干後押しとなった		
無料ダウンロードした電子書店の選択理由	通常利用しているネット書店だから。	iPhoneに入れていつでも読めるので	よく使っているから	いつも利用しているから		
主にどちらでお読みになりましたか？ 紙書籍版/電子書籍版 (%)	紙の書籍 = 80 電子書籍 = 20	紙の書籍 = 50 電子書籍 = 50	紙の書籍 = 100 電子書籍 = 0	紙の書籍 = 60 電子書籍 = 40		
無料でダウンロードは、必要なサービスですか？	必要	少し必要	必要	必要		
どんな紙書籍が対象だったら今後も使いたいと考えますか？ また、どんなサービス形式だったら、より使いやすいですか？	調査、統計データに基づいた研究書、学術書。その元データも、合わせて掲載されている図書。通読するよりも、特定の言葉が記されている部分を検索して事典的に使える図書。	語学書（検索できるので辞書がわりになる）	実用書や学術書。Kindleに対応出来るようにしてほしい。	雑誌のような読み終わると捨てるもの。写真集のような、手元に置いておきたいがかさばるもの。		
これまでこの電子書店の会員でしたか？	既に会員だった	既に会員だった	既に会員だった	既に会員だった		
一年間に購入する書籍 うち電子書籍（冊/年）	500 25	30 20	20 5	200 150		
これまでに購入した電子書籍 普段、電子書籍はどのような デバイスで読まれますか？（複数回答可）	100 PC	100 スマートフォン	10	200 タブレット スマートフォン		
デバイスの機種	dynabook	iPhone	Kindle	android スマホ、 iPAD		
今回の電子書籍版はどのデバイスで読まれましたか？	PC	スマートフォン	PC	スマートフォン		
今回読んだデバイス	dynabook	iPhone	ダイナブック	android スマホ		

専門書を買うと その電子書籍を無料・割引価格でダウンロード プラス d^(仮)

20140/09/02 火 Ver2.0

(Ver2.0 から仮称をプラス d (仮) とする)

紙の本を、本屋で買うと、

電子書籍を、利用している電子書籍書店で、無料・割引で、
ダウンロードできるサービス。

紙の専門書の購入動機をプラスし、また電子書籍体験の拡大をおこなう

どこの書店で紙の専門書を購入しても、対応する電子書籍書店のどこでもダウンロードできるようにして、
中小零細書店でもネット通販書店でも、どの電子書籍書店でも参加可能なオープンなサービスを提供することで、
業界全体の取組としたい

●主な本の想定対象

- ・資料としての持ち運び需要の多いと思われるもの、検索用途の多いと思うものから開始
- ・専門書を中心にする

●目的

- ・専門書の購入動機の促進
本は代替困難なもので、「電子書籍が付いているものから選ぶ」のではなくその本それ自体を選ぶ場合が多い。
しかし、買うかどうか迷う読者に背中を押す効果がある
- ・すべての書店で活用可能なサービスの提供
- ・電子書店体験の契機を提供

●サービス内容

ネット書店・リアル書店で購入した読者に、電子書籍をプレゼント

紙の本購入者にクーポン ID を提供して、電子書店ではこれにもとづいてダウンロードを提供

○クーポン ID の購入者への提供方法（複数の選択肢を想定している）

クーポン ID は、タイトルにつき一つの ID を発行する場合と、一冊一冊にユニーク ID を発行することもできる

・オビなどに印刷する／チラシのようなものを印刷する／本体の奥付ページなどに印刷する

・申込みフォームでクーポン ID を提供する（既刊本でも対応できる）

購入した証明として、「○ページ○行目○字目の文字を入力」させるなど

ダウンロード希望の電子書店を入力

登録後メールでクーポン ID を送付する

○リアル書店で買った場合

・上記の方法で提供されるクーポン ID で、対応する電子書店でクーポン ID を入力してダウンロード

○ネット書店で紙の本を買った場合

・ネット書店側で連携している電子書店のシステムで対応

・本の到着後、上記の方法で提供されるクーポン ID で、対応する電子書店でクーポン ID を入力してダウンロード

○提供根拠

・紙の本とセットの販売である

電書ラボ企画書

●フォーマット

- ・リフロー EPUB / フィックス EPUB / テキスト付き PDF を版元で選択する
- ・このフォーマットの配信可能な電子書籍書店でのサービス提供をお願いする
電子書籍書店ごとに配信可能なフォーマットを調査してリストを制作する

●割引率

無料か、割引価格にするかは、版元のタイトル毎の設定で決定する

●クーポン ID の方法

タイトルに対してユニークなクーポン ID (同一タイトルにすべて同じ) と、
冊ごとにユニークなクーポン ID (一冊ごとにユニーク) の 2 種類の方法を版元が選択

●重複利用の防止策

電子書籍書店への会員登録を求めることで、重複利用を抑制する

電子書籍書店では DRM をかけて会員ごとの購入タイトル管理をおこなっているので、

このプラス d (仮) タイトルばかり購入するなどという不自然な会員の状態を把握できる。一定期間で会員毎の状況調査を依頼するなどして、抑止する

また、フリーメールアドレスによる複数の会員登録も可能ではあるが、「利用者」が著しく煩雑になる

複数電子書籍書店での購入履歴 (本棚) による管理の煩雑さが指摘されているなかで、一定の抑止を行える

専門書の販売促進策の模索として行うので、費用と抑止効果のバランスからこうした抑止策として行いたい

●宣伝

- ・小規模なリアル書店の店頭で客注を増やすため

「プラス d (仮) 取り扱ってます」「プラス d (仮) 専門書リスト」などのミニポスター・チラシ配布などをおこなう

- ・書籍を買うと電子書籍がついてくる本の一覧・検索サイト

●期待するプラス d (仮) の効果

- 出版社にとっての効果

比較的高額な専門書の販売の増加 / 小規模なリアル書店の客注促進活動による販売の増加

- リアル書店

積極的な客注の促進に活用

- 電子書店

新規会員獲得の動線の拡大 / 電子書籍の体験の契機をつくる

●電子取次・電子書店との協業の促進

出版社から書店に 1 ダウンロードに対して 100 円程度を紙の本の販促費として支払う

●クーポン ID をカードで制作した場合の費用のめど

あくまで目安として算定したもの

- ・冊ごとにユニークなもの 3,000 枚程度

カード制作費 4C/1C @ 20 程度 (3,000 枚の場合約 6 万円)

コード発行費用 @ 17 (3,000 枚の場合約 5 万円)

- ・タイトルごとにユニークなもの 3,000 枚程度

カード制作費 4C/1C @ 17 程度 (3,000 枚の場合約 5 万円)

コード発行費用 なし

電書ラボ企画書

●類似のサービスの現状

○OKURIBON

大日本印刷（DNP）が展示していた「OKURIBON」

OKURIBONとは、ハイブリッド書店「honto」ならではのサービスで、電子書店hontoから電子書籍をプレゼントできるというものです。これに加えて、丸善・ジュンク堂・文芸堂各書店またはオンライン書店で紙の本をラッピングしてリアル書店では特製しおりを、オンライン書店ではメッセージカードを添えてプレゼントできる仕組みです。

通販でギフトを贈れるAmazonもKindleストアで電子書籍を贈ることはできませんでしたが、受け取った人がhonto会員でない場合でも、ギフトメールに記載されたURLから簡単に会員登録できるようになっているのもポイントです。

○「AirBook」TSUTAYAとBookLive!が取り組んでいるリアル書店と電子書店の相互サービス連携です。

ユーザーはTポイントと電子書店BookLive!の両方の会員となっている必要がありますが、あらかじめ、これらを連携させておけば、TSUTAYAの店頭で紙の書籍または雑誌購入時にレジでTポイントカードを提示すると、BookLive!の本棚に店頭で購入したのと同じ電子書籍が表示される、という仕組みです。

また、自分の読みたい紙の書籍がTSUTAYAにない場合でも、書店で予約すれば、到着するまでの間、電子版で読めるようにするとのこと（FastRead）。

これらはいくまでもこのサービスに対応する書籍・雑誌に限定されますが、Tポイントカードを提供するカルチャーコンビニエンスクラブ（CCC）としては、Tポイントカード提携店舗をさらに増やす狙いがあると見られ、導入する書店でも来客数の増加が期待しているようです。

ただし気になる点も。日本最大級の電子書店とはいえ、現在のところ連携しているのがBookLive!だけである点、そしてまだ電子書籍を提供する出版社が限られている点です。導入時期も「年内」とだけ示されており、詳しい時期は未定です。

○米アマゾン、書籍を買うとKindle版もついてくる「Kindle MatchBook」発表！ 18年前に買った書籍も対象に

米アマゾンは、Amazonで買った書籍の一部の電子版を提供する「Kindle MatchBook」を発表しました。我々ユーザーが最も欲しかった機能ですよ！

今年初めに米アマゾンでサービス開始している「Auto Rip program」（CDを購入するとクラウド上にあるMP3の音楽も提供するプログラム）と良く似ています。

MatchBookは、米アマゾン開設年の1995年から遡って購入した一部の書籍のKindle版が無料、または0.99ドル／1.99ドル／2.99ドル（約100円／200円／300円）の定額で手に入るサービス。まずは約1万冊の本を対象に、10月からサービス開始予定です。ただし対象となるのは、アマゾンから新品で書籍を購入した場合のみ。

昔買ったけど、どっかに行っちゃった、または売っちゃった本がまたKindleで読めるようになるのは良いですね。18年前からの購入履歴がずっと残っているのはちょっと不気味だけど…でもこんな時に役に立つのもアマゾンならではの。

日本もなる早で同じようにサービス展開して欲しいものです。

○空飛ぶ本棚

「空飛ぶ本棚」は、出版社などのコンテンツホルダーから協力を得て運営されているシステムです。本や雑誌を購入した時に付いてくる「クーポンコード」を入力するだけで、その本や雑誌を「無料」で、「いつでも」、「どこでも」楽しめます。

文章や画像だけでなく、映像や音楽も楽しめるコンテンツも続々登場予定です。

簡単な会員登録をするだけで、iPhoneやiPadだけでなくAndroid端末やPCでも閲覧出来ます。家ではPCで、通勤通学中はスマートフォン、旅行先ではタブレットなど、ご利用シーンに合わせてお楽しみいただけます。

クーポンコードは、一度入力するだけで、以降はサーバで管理されている会員毎の本棚に格納されます。

本棚はジャンル別で管理できるので、本がいっぱいになっても安心。

さらに、電波の入らない場所でも「持出バッグ」にコンテンツを入れれば、端末を持ち歩くことで、いつでもコンテンツを閲覧出来ます。

参加商品はドンドン増えていきます。雑誌を買えば、本を買えば、無料で電子版が楽しめる。「空飛ぶ本棚」にご期待下さい。

「電子書籍情報まとめノート」というウェブサイトで、丁寧な電子書籍情報をまとめられている。3月10日に、「リアル書店×電子書店の連携サービス」という詳細なレポートが公開されていた。

プラス電書サービスと同様なさまざまなサービスの現状がまとめられているので、サイト管理人に了解を得て、転載させてもらった。

ここにある多くの連携サービスは「あるリアル書店+ネット書店で書籍を買うと、提携関係の電子書店で電子書籍をサービス」というコンセプトだと思われる。

プラス電書サービスは「どのリアル書店+ネット書店で書籍を買っても、(提携する)好きな電子書店で電子書籍をサービス」と、どの書店でも、好きな電子書店で、ということコンセプトにしているという点に違いがあると考えている。

電子書籍情報まとめノート = <http://www7b.biglobe.ne.jp/~yama88/index.html>

管理人=東京の小さな印刷会社(組版メイン)で働いているDTPオペ。Webは独学、タグ手打ち。twitter:@yamakai74

電子書籍情報まとめノート

HOME
基本情報
フォーマット
端末
プラットフォーム
制作・配信
各種サービス

電子書籍の横断検索

電子図書館

リアル×電子の連携

リアル書店×電子書店の連携サービス (2015.3.10更新)

- 紙の書籍購入で電子版を無料(または割引)提供するサービス
- 電子書籍の店頭販売サービス
- リアル書店&電子書店の共通ポイントサービス
- 紙書籍&電子書籍を一括管理する本棚サービス
- 試した New

どの書店がどの電子書店と組んでどんなサービスを展開しているのか整理してみた。

リアル書店	丸善 ジュンク堂 文教堂	文教堂	4店舗 (※2)	三省堂書店	TSUTAYA	紀伊國屋書店	未来屋書店	書泉 あおい書店 明屋書店 大垣書店
電子書店	honto	など (※1)	深田天 kobo	BookLive	BookLive	紀伊國屋書店	mibon	など (※3)
店頭決済			BooCa	店頭決済			店頭決済	c-shelf
紙+電子	読割50	空飛ぶ本棚		デジ本プラス	airbook			
共通ポイント	hontoカード			三省堂カード	Tカード	紀伊國屋カード		
共通本棚	マイ本棚			読むコレ		あなたの本棚		

(2015.3.8現在)

※1 くまざわ書店、有隣堂、丸善、ジュンク堂、ブックファーストなどでも実施中との記事あり
 ※2 有隣堂ヨドバシAKIBA店、豊川堂カルミア店、今井ブックセンター(三省堂書店本店は調整中)
 ※3 取扱書店で検索できた書店。ほかに宮脇書店、明文堂書店など多数

紙の書籍購入で電子版を無料（または割引）提供するサービス

特定の書店や電子書店と提携しているサービスから、書店を選ばないサービスまで。

	実施書店	対応する本棚 (電子書店)	サービス内容
	文教堂など (※1)	独自アプリ	文教堂などで「対象商品」を購入すると、その電子版も無料で提供
	TSUTAYA	BookLive*	TSUTAYAで「対象雑誌」を購入すると、その電子版も無料で提供（自動DL） ★Tカード提示
	三省堂書店	BookLive*	三省堂書店で「対象雑誌」を購入すると、その電子版も無料で提供
(読割50) ニュース	丸善、文教堂 ジュンク堂 hontoストア		対象書籍の電子版を半額で提供 (2015年春開始予定) ★hontoカード提示
(試験運用中) リリース	首都圏の 11店舗		対象書籍の電子版を無料で提供 (2014年度内の本格運用目指す)
	-		Fujisan.co.jp で対象の紙雑誌を定期購読すると、電子版がついてくる (※2)

▼出版社独自サービス

	どこでも	ブラウザ閲覧	講談社の女性誌 (ViVi、VOCE等) を買うとデジタル版も無料で読める
---	------	--------	---------------------------------------

※1 キャンペーン時には丸善、ジュンク堂、くまざわ書店、有隣堂、ブックファーストなども参加

※2 定期購読を終了すると、デジタル版は閲覧できなくなる。

他にもいろいろ。

- ポット出版《プラス電書》サービス (例)
- 有斐閣「六法全書 平成26年版」
- 昭文社「まっふる」
- 日本経済新聞社「日経業界地図 2015年版」
- (ちょっと違うけど) ラトルズ「無料PDF版サービス書籍」

➡ 「空飛ぶ本棚」、雑誌販売でのクロスメディアの挑戦 - JAGAT (2014.5.30)

➡ 集英社の主要雑誌15誌、1584書店でデジタル版付録に - 新文化 (2014.9.16)

上に戻る

電子書籍の店頭販売サービス

街の本屋の店頭で、紙の本と同じように **電子書籍を現金で購入** できるサービス。手順としては主に2通り。

- リアル書店店頭で書籍を選び、ダウンロード用コードを入手するもの (★)
- 電子書店で購入手続き後、支払いを書店店頭で行うもの (☆)

	書店	対応する電子書店	メモ
 c-shelf	1500書店 (※1)		トーハンの電子書籍店頭販売システム ★コード記載のカード購入
 BooCa	3書店		JPOによる実証事業 (～2015年2月末日) 現在は楽天が運営 ★コード記載のカード購入
三省堂書店 店頭決済サービス	三省堂書店		店内検索機やアプリにて電子書籍を検索、結果をレジへ提示しクーポンコードを受け取る ★コード記載のレシート受取
mibon店頭決済	未来屋書店		mibonサイトで選んだ電子書籍を、未来屋書店店頭で決済 ☆支払い番号を控え店頭へ
店頭販売フェア	フェア参加店		日販の書店店頭販売フェア (不定期?) ★コード記載のカード購入

※1 サービス開始時点 (リリースより)

他に、「ヴィレッジヴァンガード」×「いつでも書店」の連携も (現金決済なし)

- ➔ 書店店頭販売システム「c-shelf」をバージョンアップ - TOHAN website (2013.10.11)
- ➔ なぜ本屋で電子書籍? | BooCa × 今井書店
- ➔ デジタルコンテンツ | 日本出版販売株式会社

上に戻る

リアル書店&電子書店の共通ポイントサービス

リアル書店と電子書店で「貯まる・使える」共通のポイントサービス。

	書店	電子書店	通販	付与率・有効期限
 hontoポイントカード	ジュンク堂 丸善 文教堂	 honto	honto	率：100円毎1ポイント 期：1年間
 紀伊國屋 Point Card	紀伊國屋書店	 紀伊國屋書店 (※1)	紀伊國屋書店	率：100円毎1ポイント 期：翌年12月末日まで
 クラブ三省堂カード	三省堂書店	 BookLive! (※2)	e-hon (※3)	率：購入額の1% 期：2年間
 Tカード	TSUTAYA オリオン書房	 BookLive!  YAHOO! フラクストア	TSUTAYA ヤフー	率：200円毎1ポイント (通販は100円毎) 期：1年間利用なしで失効
 アニメイトカード	アニメイト 書泉	 animate Bookstore	アニメイト	率：購入額の5% (書泉は1%) 期：2年間利用なしで失効

※1 iOS向け Kinoppy から購入する場合、ポイントは使えない

※2 貯めるのみ

※3 貯めるのみ。あらかじめe-honに会員登録し、My書店を「三省堂書店」で登録しておく

※4 三省堂ポイントは、100ポイント毎に三省堂書店専用の商品券と交換して使用

※5 アニメイトのポイントは、相互交換やコインへの交換などが必要

電子書店とネット書店の間では「e-honポイント」や「楽天スーパーポイント」も。

- ➔ クラブ三省堂のサービス内容
- ➔ ポイントカードについて | 紀伊國屋書店ウェブストア
- ➔ ポイントについて - FAQ | アニメイトブックストア

上に戻る

紙書籍&電子書籍を一括管理する本棚サービス

連携するストア内で購入した紙の書籍と電子書籍の購入履歴を、一つの本棚に並べて管理できる本棚サービス。

- [読むコレ](#) ……BookLive! + 三省堂書店
- [マイ本棚](#) ……honto + 丸善・ジュンク堂・文教堂
- [あなたの本棚](#) ……紀伊國屋書店（リアル、電子、通販）
- [オープン本棚](#)

※ 購入履歴以外に、任意の紙の本の情報を登録することも可。

上に戻る

試した (2015.2.27~3.6)

【店頭での購入】



▲左から、BooCa、三省堂デジ本、c-shelf

※ c-shelfは、取扱書店であれば、電子書籍販売カードを陳列していない店舗でも利用できるはず（検索画面をプリントして持参orスマホ画面を見せる）

【紙の本を買くと電子版がついてくる】



▲左から、デジ本プラス、Airbook、空飛ぶ本棚（ビューアはActibookだった）

紙の本を買くと電子版がついてくるサービス、対象書籍の状況（一部）

	空飛ぶ本棚	デジ本プラス	Airbook		空飛ぶ本棚	デジ本プラス	Airbook
週刊ダイヤモンド	○	○	○	OZmagazine	○	○	○
週刊東洋経済	○	○	○	OZplus	○	○	○
PRESIDENT		○	○	Hanako		○	○
ダイヤモンドZAI	○	○	○	non・no			○
会社四季報	○	○	○	CREA	○		
SPA!			○	DRESS	○		○
Tarzan		○	○	サンキュ!			○
Begin		○	○	家庭画報			○
MEN'S CLUB		○		GOLD			○
MEN'S EX		○	○	オレンジページ			○
MEN'S NON-NO			○	レタスクラブ	○		
UOMO			○	dancyu		○	
GoodsPress	○		○	モダンリビング		○	
週刊パーゴルフ			○	Casa BRUTUS		○	○
週刊ゴルフダイジェスト	○		○	びあ各種	○		
週刊サッカーダイジェスト			○				

(2015.3.7調べ)

- ➡ 空飛ぶ本棚 対象商品
- ➡ デジプラス 対象雑誌
- ➡ Airbook 対象書籍

※ 空飛ぶ本棚の場合、対象商品であっても「クーポンコード用紙が挟み込まれているもの」を買わないと電子版はついてこない。クーポンコード付きは数に限りがある。（コード番号がページ内に直接印刷されている書籍もあるが）